



氾濫する情報に流されない力

附属総合情報センター

副所長・企画開発室長 大西 浩文

私が札幌医大を卒業した 1990 年代後半は、インターネット環境といっても個人のコンピューターでアナログ回線を使用して接続するような時代でした。ほんの十数年の間に、コンピューターの性能や回線速度の向上、情報のデジタル化、モバイル端末の普及、無線 LAN 環境の整備などが急速に進んで、いつでもどこでも膨大な情報に触れることができるようになりました。情報がデジタル化されることによりメモ書きから国家機密資料までがインターネット上に蓄積・共有され、またソーシャルネットワークサービスの普及により簡単に個人の意見がインターネット上に発信・交換されるようになったため、蓄積されている情報の質はさまざまとなってしまい、利用する側に取捨選択する力が求められるようになってきています。

私は内科学第二講座と公衆衛生学講座で臨床研究や疫学研究に携わっておりますが、情報との付き合い方はこれらの研究と共通するところがあると考えています。人の集団を対象とする臨床研究・疫学研究は個人差との戦いです。例えばタバコと肺がんの関連を検討する場合、かつて 120 歳で男性最高齢を記録した泉重千代さんのようにヘビースモーカーでも肺がんにもならず長寿の人もいれば、タバコを吸っていないのに肺がんで若くして亡くなってしまいう人もいます。個人を見ているだけでは喫煙が肺がんと関連するのかわかりませんが、集団で見ると個人差をノイズとして捉えることで（そこには統計学という手法を用いますが）、ある傾向が見えてきます。既報の論文の成果を集めて検討するメタアナリシスという



方法も、対象や方法が異なる一つ一つの論文を個人と考え、それを集団として扱うことで研究毎の「個人差」というノイズを取り除いて真の関連を推測する同様の手法です。一方でこうした研究の成果は、先の例のように全ての個人に当てはめることができないということや、その成果のみではメカニズムに迫ることが難しいという注意点もあります。したがって、こうした知見を正しく用いるためには、集団としてみるマクロ的視点と個人さらには細胞や分子レベルのメカニズムにまで向きあうミクロ的視点の両方が必要になります。

インターネット上に氾濫する膨大な情報を正しく取り扱う上でも、玉石混淆の個々の情報に向き合うミクロ的視点のみではなく、多くの情報を集めることによって見えてくる全体の傾向を把握するというマクロ的視点の両方が重要と考えられます。その意味では、よりよい医療を提供するために多くの文献を検索して情報を収集・選択・整理し、患者さんへの当てはめが可能な吟味してそれを利用・提供するというのは、まさにこれからますます求められる「氾濫する情報に流されない力」の一つではないかと考えています。

図書館サインが新しくなりました！

すでにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、本年3月よりフロアマップをはじめとした図書館内の各種サインを一新いたしました。今回の図書館サインの改修は、昨年度開催しました学部学生懇談会での“各階にどんな資料が配置されているのかわかりづらい”、“目的の書架にたどりつけない”といった意見を踏まえ、次の改修を行っています。

■ “分かりやすさ”、“見やすさ”を第一にデザインしました！

図書館施設は、各階中央にエレベーターなどの共有スペースがあり、その周りを取り囲む東西南北に閲覧席や書架が配置されています。従来のフロアマップでは、「図書」、あるいは「和雑誌（2000年以降）」といったように、各フロアに配置している資料種別名の記載により表示してきましたが、新しいフロアマップでは、次のとおり、ゾーン番号、あるいは配置している資料の種類に応じて、色分けし、資料探索を容易にできるようにしました（図1）。

- ① 3階フロアは、東西南北と中央の5つのブロックに分け、ゾーン番号のサイン板を新たに設置し、フロアマップ上にも明示しました。
- ② 4階フロアは、配置資料を色分けにより表示。特に、電動式集密書架に配架されている製本雑誌は、和洋とも2カ所のブロックに分かれており、続きの書架がわかりづらかったことから、新たに上下2本のカラーラインを施し、フロアマップと対応させ、一目瞭然となるようにしました（図2）。

■フロアマップは、エコ仕様！

現在、図書館には約20万冊の蔵書があります。また、図書・製本雑誌を合わせ、1年間に約6千冊増加し続けています。そのため数年に1度、資料の移動を行うとともに、案内表示も作り直しています。今回のフロアマップの改修では、資料の配置変更があった際、全て作り直すのではなく、当センター所有のプリンタなどを使い、必要な部分のみを作成し、迅速に差し替えできるような仕様となっています。

前述のとおり、今回の図書館サインの改修は、学部学生懇談会での意見をもとに、全面的な見直しを行っていますが、予算の都合により全ての改修を終えることができませんでした。特に、ブラウジングルームやラウンジは利用者の皆様がつろぐスペースである反面、総合カウンター真正面であることから図書館としても節度ある利用をお願いしたいと考えており、趣向を凝らしたサインを用意していましたが、今回の改修では断念することとなりました。引き続き、“見やすい”、“分かりやすい”を基本に改修を行っていきたいと考えますが、利用者の皆様方からの評価やご意見などをお聞かせいただければ幸いです。

（利用サービス 内線 2418）



図1. 新しいフロアマップ



図2. 4階電動式集密書架のカラーライン表示

Web による SAINS アカウントの申請について

電子メールをはじめとする当センター提供の各種サービスの個人認証にお使いいただいている SAINS アカウントの取得方法ですが、申請書提出以外に、Web 経由によっても申請を行うことができます。Web 経由によるアカウント申請は、申請書提出によるアカウントの取得とは異なり、申請時にご自身でパスワードを設定したり、アカウント設定完了通知を指定のメールアドレスで受け取ることができるなどのメリットがあります。ここでは、Web による SAINS アカウントの申請の概要についてご説明いたします。

1 利用対象者等

Web 経由で SAINS アカウントの申請ができる方々は、本学に所属する教職員、研究生、学部学生、大学院生等です。また、Web 経由の申請は、学内接続パソコンに限ります。

2 申請手順

- ① 当センター・ホームページの左メニュー「情報ネットワーク」内の「SAINS 利用申請書」をクリックしてください。
- ② 「インターネット申請」の「申請する」のリンクをクリックしてください。
- ③ 最初のユーザ自己登録申請ページでは、画面に表示される「ユーザ名（責任者）」を入力してください。
- ④ 次のユーザ自己登録申請ページ（右）では、登録のためのご自身の個人情報を入力してください。
- ⑤ 最後に、「申請」ボタンをクリックし、完了です。

図. ユーザ自己登録申請の個人情報入力ページ

3 SAINS アカウント取得後に利用できるサービス

SAINS アカウント取得後に利用できるサービスは次のとおりです。また、個々のサービスの利用方法の詳細は、当センター・ホームページの左メニュー「情報ネットワーク」内の「システムとサービス」をご参照願いますとともに、ご利用にあたっては、本学情報セキュリティ基本方針及び同対策基準などのルールを遵守願います。

- ① 「sapmed.ac.jp」ドメインによる電子メールの送受信（Web メールも含む）
- ② 学会・研究会等のホームページ、メーリングリストの開設（別途、要申請）
- ③ ファイルサーバを使った個人ディレクトリ共有サービス
- ④ ダイアルアップ（PPP 接続）、商用プロバイダ経由の VPN 接続（別途、要申請）
- ⑤ Web プロキシ（代理）サーバ利用による学外からの文献データベース、電子ジャーナルの利用（別途、要申請）
- ⑥ 学内無線 LAN ローミング・サービス
- ⑦ Web 経由による学外文献複写依頼（別途、要申請）

（情報システム係 内線 2239, 2249）

図書館システム更新に伴う各種サービスの休止について

本学蔵書検索や図書館資料の貸し出し、あるいは本学非所蔵資料の他大学図書館等への文献複写申し込みなどにご活用いただいている各種図書館システムですが、本年9月末に5カ年間の賃貸借契約の終了を迎えることから、図書館2～4階及びAVルーム内のパソコン等も含めたソフトウェア及び機器一式の更新を実施します。

更新作業期間は、本年9月18日以降10日間程度を予定しており、その間、蔵書検索、図書館資料の貸し出し、文献複写申し込みなどの各種サービスが停止となる見込みです。当センターとしては、学部学生の試験期間中でもあることから、サービスの停止については最小限となるよう努力する所存です。ご利用のみなさまには、ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、サービス停止内容につきましては、詳細が決定次第、当センター・ホームページ、メーリングリストなどによりあらためてご案内いたします。

(情報システム係 内線 2239, 2249)

情報システム系の事務室が移転しました！

本年4月より電子メール・アカウントの発行、学内ネットワークシステムの運用管理を行っています情報システム系の事務室が基礎医学研究棟5階から同棟2階に移転致しました。今回の移転により図書館も含めた当センター全てのサービスについて2階事務室にてご照会いただくことが可能となりました。

なお、当センター企画開発室、情報研究室は、従来通り、基礎医学研究棟5階となりますので、ご注意ください。



図. 当センター2階事務室フロア図

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス(カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LANへの機器接続に関すること	2239	iccc@sapmed.ac.jp	情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp